

オーストラリア株式ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第69期(決算日2025年11月17日)

第70期(決算日2026年2月16日)

作成対象期間(2025年8月16日～2026年2月16日)

第70期末(2026年2月16日)	
基準価額	8,405円
純資産総額	2,763百万円
第69期～第70期	
騰落率	16.2%
分配金(税込み)合計	240円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項にかかる情報を記載したものです。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「オーストラリア株式ファンド」は、2026年2月16日に第70期の決算を行ないました。当ファンドは、主として、オーストラリアの株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<441031>

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当運用報告書に関するお問い合わせ先

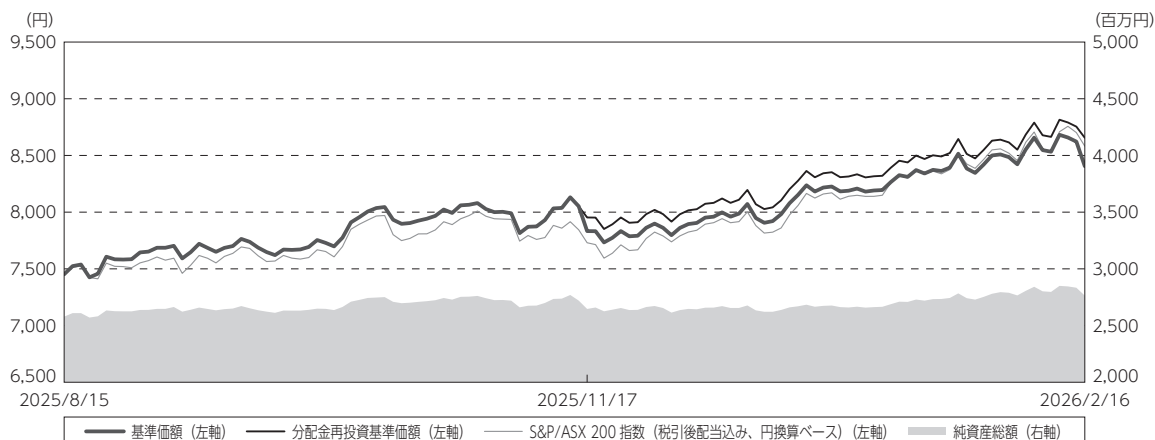
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2025年8月16日～2026年2月16日)



第69期首：7,452円

第70期末：8,405円 (既払分配金(税込み)：240円)

騰落率：16.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびS&P/ASX 200指数(税引後配当込み、円換算ベース)は、作成期首(2025年8月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) S&P/ASX 200指数(税引後配当込み、円換算ベース)は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の変動要因

当ファンドは、主として、オーストラリアの株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・金価格および資源価格の上昇を背景に、金および鉱業関連銘柄が上昇したこと。
- ・期間の後半、中国株式市場が上昇したことなどから、中国経済に対して過度な悲観論が後退したこと。

<値下がり要因>

- ・オーストラリア国内のインフレ再加速とそれに伴う金融政策の不透明感。

1万口当たりの費用明細

(2025年8月16日～2026年2月16日)

項 目	第69期～第70期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	71	0.892	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(34)	(0.429)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(33)	(0.418)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.045)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.062	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
(株 式)	(5)	(0.058)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.004)	
(c) そ の 他 費 用	6	0.078	(c) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.054)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用 等)	(2)	(0.022)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合 計	82	1.032	
作成期間の平均基準価額は、8,000円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

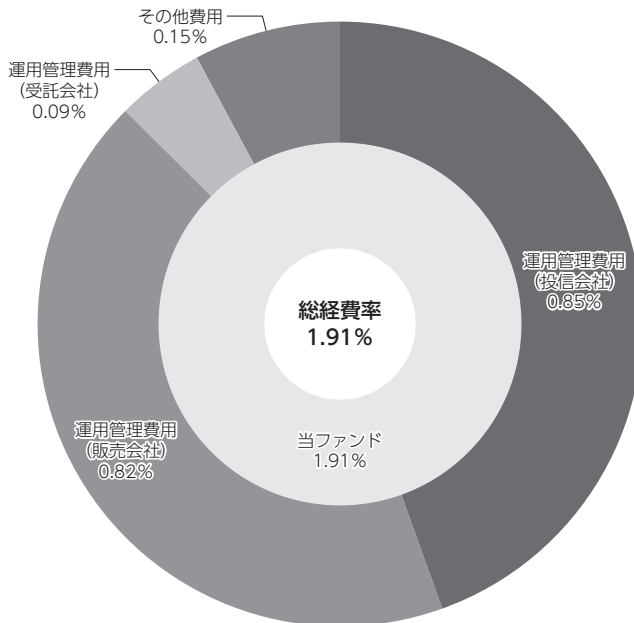
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

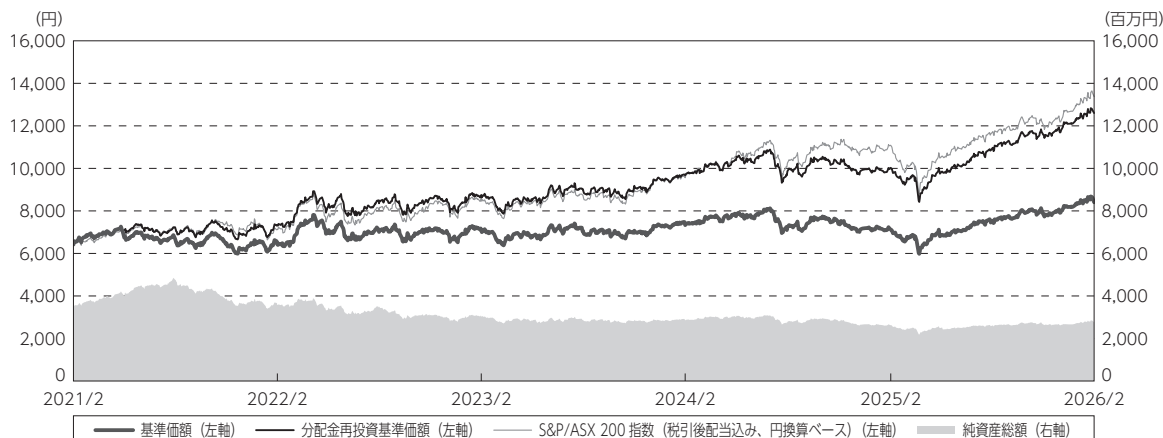
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年2月15日～2026年2月16日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額およびS&P/ASX 200指数（税引後配当込み、円換算ベース）は、2021年2月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年2月15日 決算日	2022年2月15日 決算日	2023年2月15日 決算日	2024年2月15日 決算日	2025年2月17日 決算日	2026年2月16日 決算日
基準価額 (円)	6,415	6,423	7,094	7,330	7,120	8,405
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	900	540	480	480	480
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	14.5	19.1	10.6	3.6	25.7
S&P/ASX 200指数 (税引後配当込み、円換算ベース) 騰落率 (%)	—	11.1	20.6	11.2	16.0	20.6
純資産総額 (百万円)	3,322	3,577	3,048	2,849	2,622	2,763

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
(注) S&P/ASX 200指数（税引後配当込み、円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

投資環境

(2025年8月16日～2026年2月16日)

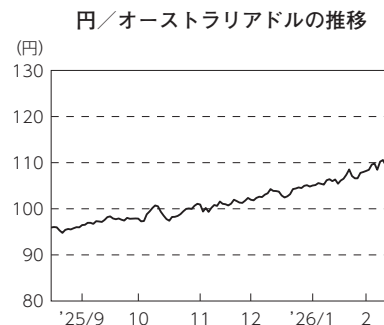
(オーストラリア株式市況)

オーストラリア株式市場は、インフレ動向と金融政策を巡る不透明感が高まる中、セクターおよび銘柄間で明暗が分かれる展開となりました。期間の初めには、インフレの鈍化を背景とした金融緩和期待が市場を下支えしましたが、中盤以降はインフレ指標が再び上振れし、オーストラリア準備銀行（RBA）の政策スタンスを巡る見方が不安定化しました。

こうした環境下、市場全体では概ね横ばいでの推移となりました。一方で、セクター間では跛行色が強くなり、素材セクターが大きく上昇した一方で、情報技術セクターやヘルスケアセクターは低迷しました。

(為替市況)

期間中における円／オーストラリアドル相場は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(2025年8月16日～2026年2月16日)

(当ファンド)

当ファンドは、「オーストラリア株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(オーストラリア株式マザーファンド)

期間中、ポートフォリオでは、経済環境やファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）、配当利回りなどを勘案し活発な銘柄入替を行ないました。

具体的には、市場の期待が高まったことで株価が上昇した銘柄を売却した一方で、相対的に株価が低迷し、また成長余地が見込まれる銘柄については、段階的な組み入れを実施しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年8月16日～2026年2月16日)

期間中における基準価額は、16.2%（分配金再投資ベース）の値上がりとなり、ベンチマークである「S&P/ASX 200指数（税引後配当込み、円換算ベース）」の上昇率15.2%を概ね1.0%上回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

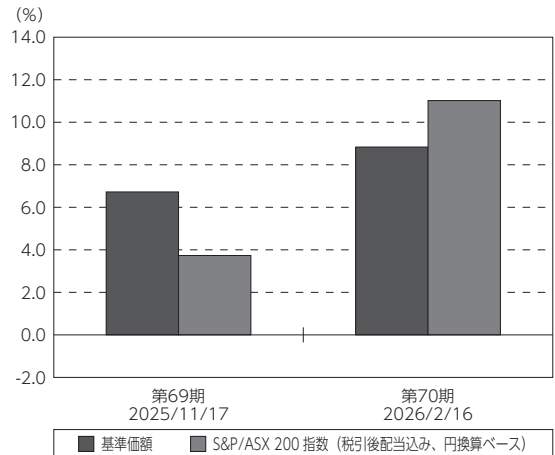
＜プラス要因＞

- ・金を生産する大手企業の保有が、金価格の大幅な上昇を背景に、プラス寄与となりました。
- ・バリュエーション（価値評価）の割高な銘柄の一角に消極姿勢で臨んでいたこと。P E R（株価収益率）などで見て過去の水準から乖離している銘柄の幾つかがアンダーパフォームし、相対的にプラスに働きました。

＜マイナス要因＞

- ・オーストラリアを代表する鉱業企業に消極姿勢で臨んでいたこと。市況が一時上昇したことなどから、期間の後半にこの企業の株価が上昇しマイナスの影響となりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) S&P/ASX 200指数（税引後配当込み、円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

分配金

(2025年8月16日～2026年2月16日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりいたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第69期	第70期
	2025年8月16日～ 2025年11月17日	2025年11月18日～ 2026年2月16日
当期分配金 (対基準価額比率)	120 1.509%	120 1.408%
当期の収益	120	98
当期の収益以外	-	21
翌期繰越分配対象額	3,204	3,759

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、原則として「オーストラリア株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないます。

(オーストラリア株式マザーファンド)

今後のオーストラリア株式市場は、引き続きインフレ動向と金融政策の方向性が焦点になると考えられます。インフレ動向を受けて、RBAは金融引き締め方向へ舵を切った可能性があります。市場では、2026年中の追加利上げ時期やペースを巡る思惑が変動要因となりやすく、株式市場のボラティリティ（変動性）は高まりやすい局面が想定されます。一方でRBAの判断は、オーストラリア経済が堅調で、雇用環境と一定の成長モメンタムが維持されており、急激な景気減速リスクは限定的との見方の裏返しでもあります。住宅市場については金利上昇観測が需要を抑制する可能性はあるものの、経済全体では大幅な悪化には至らないと見込まれます。

外部環境では、米国経済は底堅さを維持しているものの、成長の牽引役が一部のセクターに集中していると見られ留意が必要です。中国経済は調整局面にある可能性がありますが、株式市場の回復や貿易環境の安定化は、資源需要を下支えする要因になるとみています。

このような環境下、当ファンドでは、バリュエーションを重視した投資判断を継続し、相対的に業績の安定性が高い生活必需品セクターやコミュニケーションサービスセクターといった業種を重視した運用を継続します。一方で、景気循環や金利動向の影響を受けやすい分野については、個別企業の収益力や財務健全性を精査しながら慎重に投資判断を行なう方針です。市場環境の変化に柔軟に対応しつつ、中長期的な収益機会の獲得をめざした運用を行なっていきます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2025年8月16日から2026年2月16日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。

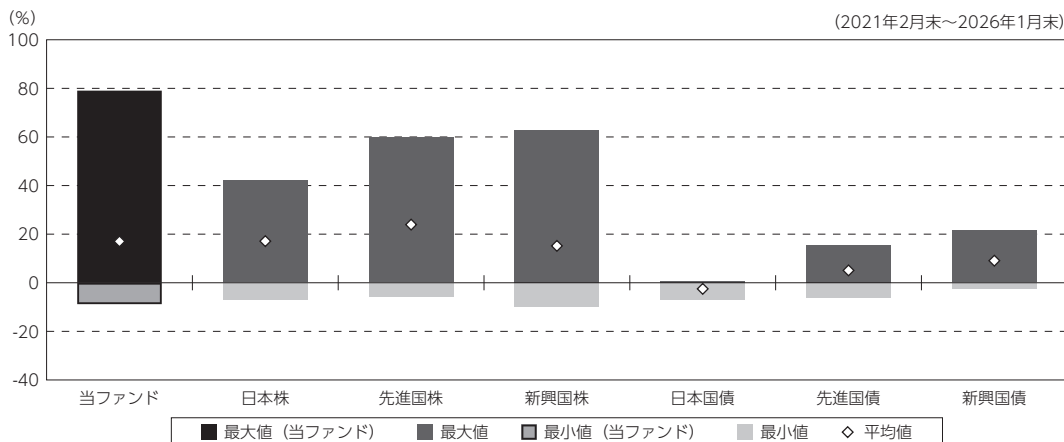
- ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。(第1条、第16条)
- ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。(第57条)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2008年9月26日から2049年8月13日までです。	
運用方針	主として「オーストラリア株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざします。	
主要投資対象	オーストラリア株式ファンド	「オーストラリア株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	オーストラリア株式マザーファンド	オーストラリア企業が発行する金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	主として「オーストラリア株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。オーストラリア証券取引所を代表する株価指数をベンチマークとして、当該指数を上回る運用成果をめざします。原則として為替ヘッジは行ないません。	
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	79.1	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 8.8	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	17.0	17.1	23.9	15.2	△ 2.5	5.1	9.1

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年2月から2026年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株: TOPIX (東証株価指数) 配当込み

先進国株: MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株: MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債: NOMURA-BPI 国債

先進国債: FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債: JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのベンチマークについて

●S&P/ASX 200 指数 (税引後配当込み、円換算ベース)

S&P/ASX 200 指数 (税引後配当込み) は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス (S&PDJI) が発表している、オーストラリア証券取引所上場の時価総額上位200銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。同指数の (円換算ベース) とは、公表指数を基に円換算したものです。

指数について

●TOPIX (東証株価指数) 配当込みは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

●NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われるアモウヴァ・アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2026年2月16日現在)

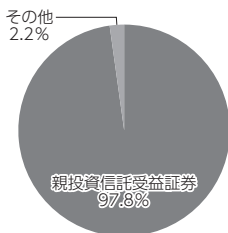
○組入上位ファンド

銘柄名	第70期末
オーストラリア株式マザーファンド	97.8%
組入銘柄数	1銘柄

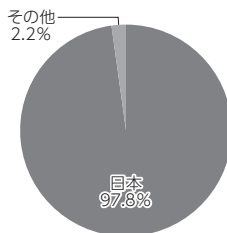
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

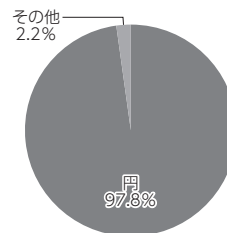
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第69期末	第70期末
	2025年11月17日	2026年2月16日
純資産総額	2,646,505,315円	2,763,784,321円
受益権総口数	3,378,524,672口	3,288,311,785口
1万口当たり基準価額	7,833円	8,405円

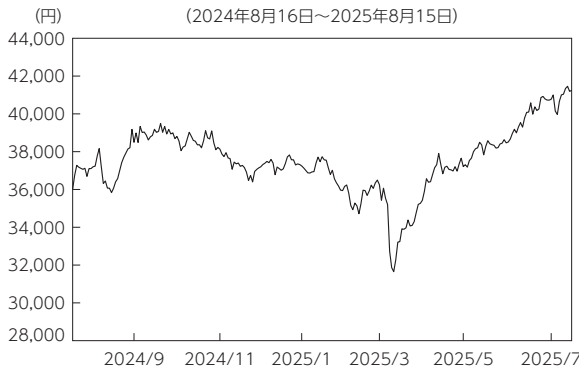
(注) 当作成期間(第69期～第70期)中における追加設定元本額は277,017,082円、同解約元本額は448,912,961円です。

組入上位ファンドの概要

オーストラリア株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年8月16日～2025年8月15日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年8月16日～2025年8月15日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	57 (50) (6)	0.151 (0.134) (0.017)
(b) その他費用 (保 管 費 用)	59 (59)	0.157 (0.157)
合 計	116	0.308

期中の平均基準価額は、37,608円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2025年8月15日現在)

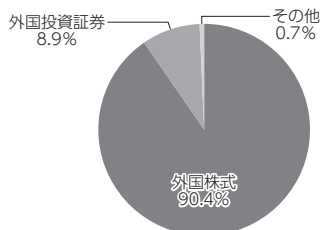
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	銀行	オーストラリアドル	オーストラリア	6.6%
2 BHP GROUP LTD	素材	オーストラリアドル	オーストラリア	6.2%
3 ANZ GROUP HOLDINGS LTD	銀行	オーストラリアドル	オーストラリア	6.2%
4 CSL LTD	医薬品/バイオテクノロジー/ライフサイエンス	オーストラリアドル	オーストラリア	6.1%
5 TELSTRA GROUP LTD	電気通信サービス	オーストラリアドル	オーストラリア	4.9%
6 RIO TINTO LTD	素材	オーストラリアドル	オーストラリア	4.5%
7 WESTPAC BANKING CORP	銀行	オーストラリアドル	オーストラリア	4.4%
8 QBE INSURANCE GROUP LTD	保険	オーストラリアドル	オーストラリア	4.0%
9 NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	銀行	オーストラリアドル	オーストラリア	3.9%
10 GPT GROUP	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	2.8%
組入銘柄数			42銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

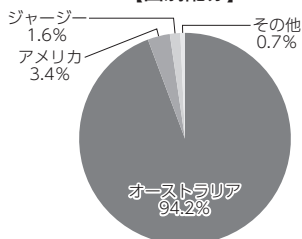
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

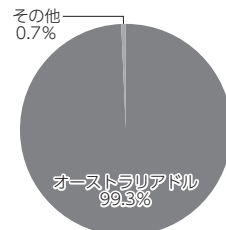
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。